

# 工房鐵山 一刀彫展



2026.3.1 sun - 29 sun

匠の聚ギャラリー  
10:00-17:00 水曜日休館

# 一刀彫 WORK SHOP

各日二部制 ①10:00~12:00 ②13:00~15:00  
\*15(日)のみ ①10:00~15:00

お申し込み

✉ takumi@takuminomura.gr.jp

☎ 0746-53-2381



3月1(日)	一刀彫実演 松本一平	見学無料
8(日)	フクタロウを彫ろう 松本一平	800円
*15(日)	干支午を彫ろう 松本一平	(各回定員6名) 4,000円
20(金・祝)	好きな干支に絵付けをしよう! 松本揚子	(各回定員6名) 3,500円
21(土)	木のピクニック	500円
22(日)	月例一刀彫教室 (アトリエにて)	見学可能
29(日)	箸づくり 松本一平	(各回定員12名) 2,000円



好きな干支に絵付けをしよう!

## てっざん 工房鐵山

川上村・匠の聚に、工房「鐵山」のアトリエがあります。

木々に囲まれたこの場所で、木を保管し、切り出し、彫り出していきます。木材は一年以上、屋外で自然乾燥させます。雨や風にさらすことで、木のあくが抜けるといわれています。

しかし、長い年月を経て屋外に置かれた木は、やがて腐り始めます。まるで山々が木をゆっくりと山へ返そうとするかのように。その自然の循環を受け止め、その一時を切り取り、作品としてかたちにしています。「鐵山」は、故・松本鐵太郎のもとに集った彫り師や絵師たちによる作品群です。現在は松本一平がその遺志と技を受け継ぎ、作品と精神を未来へとつないでいくため、日々研鑽を重ねています。これまでに培ってきた技術と経験を、新たな作品へと昇華させていきたいと考えております。本作品展では、鐵山の初期作品をはじめ、試作品、そして伝統にとらわれない新たな表現までをご覧ください。



## 平安時代に始まった 奈良一刀彫

奈良一刀彫は、平安時代、春日大社の祭礼のために作られた人形に始まります。江戸時代には子どもの玩具として親しまれ、幕末には森川社園によって芸術の域にまで高められました。ヒバ、楠、桧などの木材を用い、木槌とさまざまノミによって、一刀のもとに面や稜線を表し、岩絵の具や金銀箔による華麗な彩色が施されます。

一刀彫が「面」による造形で成り立つのは、清浄を重んじる思想に由来します。かつて春日大社の式年造替で生じた古材を用いて彫られた人形は、魔除けと考えられていました。そのため、手を加え続ける丸彫りは避けられ、自然素材に人の手を最小限にとどめ、「一刀で彫ったように見える」表現が求められました。これが一刀彫の造形の原点とされています。こうした制約の中から生まれた形やノミ使い、そしてそれらと調和する絵付けとのバランスこそが、奈良一刀彫の大きな魅力です。

一刀彫教室受講生の作品もご覧頂けます。

☎ 0746-53-2381 開館時間 10:00-17:00 水曜日休館

🏠 〒639-3541 奈良県吉野郡川上村東川135



森、人、アートの生誕地。



<https://takuminomura.gr.jp>